

## ごみ処理施設における博物館的機能の現状に関する一考察

佛教大学社会学部公共政策学科 堀江典子

人口減少化社会となり行政サービスの合理化が進行するなかで、地域の骨格となる様々な都市施設はその機能、存在意義についてあらためて整理し、それぞれの地域において再構築される必要がある。

都市施設は、本来の機能を発揮するため造られた物的施設である。同時に、地域の共有財産としてのより広い機能に及ぶ存在意義を有している。それぞれの都市施設はその施設本来の機能を発揮して地域を支えているだけでなく、地域のシンボルとして地域の個性や豊かさや歴史文化を象徴する存在であったり、また、地域資源の保全、一般公開、展示解説施設の設置、学校団体等の見学対応、イベント等をはじめ様々な活動を実施していることによっても地域社会に大きく貢献していると考えられる。

本発表においては、2018年2月から4月にかけて全国のごみ処理施設を対象として実施した「都市施設の博物館的機能に関するアンケート調査」（第2期調査）の結果をもとに、ごみ処理施設における現状を報告し、考察する。調査結果からは、殆どのごみ処理施設において、博物館的機能といえる収集保存、調査研究、展示教育、楽しみ（娯楽）のいずれかの取り組みを行っており、特に地域の小学校の社会見学への対応を中心に教育的役割を担っているごみ処理施設が相当数あることが確認できた。このような取り組みはごみの減量や分別、環境教育、住民の理解協力を得るなどのために必要と認識されている一方で、施設老朽化・アクセス・体制・予算をはじめ様々な課題を抱えている状況も把握できた。相関分析によって博物館的な取り組みの有無・件数と、他機関との連携に有意な関係があることが確認できており、地域のヨコの連携によって取り組みの充実を図ることができると考えられる。

# Activities Related to Museum-like Functions in Garbage Incineration Plant

Noriko HORIE (Bukkyo University)

As population declines and administrative services rationalize, various urban facilities need to reaffirm their functions and significance of existence and reorganize them. Urban facilities are built for their original functions. At the same time, they have a wide range of functions in the local community, such as symbolizing local history, conducting various activities related to conservation, disclosure, exhibition, education, and events of regional resources.

In this study, I report on the results of "Questionnaire survey on museum functions of urban facilities" (2nd phase survey) from February to April 2018 for gavage incineration plants throughout Japan. From the survey results, most of gavage incineration plants are conducting some activities related to museum-like functions. For example, there are many gavage incineration plants that play an educational role for elementary school students. While facility managers recognize that such activities are necessary for reducing garbage, environmental education, and understanding and cooperation of residents, they have various problems to implement such activities. As a result of the correlation analysis, it was confirmed that there was a significant relationship between the presence and number of efforts and cooperation with other organizations, so it is considered that the efforts can be enhanced through collaboration within the region.

Keywords: urban facilities, museum-like function, multifunction, gavage incineration plant

JEL classifications: H41, H49, I29

# ごみ処理施設における博物館的機能の現状に関する一考察

佛教大学社会学部公共政策学科 堀江典子

## 1. はじめに

人口減少化社会となり行政サービスの合理化が進行するなかで、地域の骨格となる様々な都市施設はその機能、存在意義についてあらためて整理し、それぞれの地域において再構築される必要がある。

都市施設は、本来の機能を発揮するため造られた物的施設である。同時に、地域の共有財産としてのより広い機能に及ぶ存在意義を有している。それぞれの都市施設はその施設本来の機能を発揮して地域を支えているだけでなく、地域のシンボルとして地域の個性や豊かさや歴史文化を象徴する存在であったり、また、地域資源の保全、一般公開、展示解説施設の設置、学校団体等の見学対応、イベント等をはじめ様々な活動を実施することによっても地域社会に大きく貢献していると考えられる。存在意義を発信し、施設の必要性、税金使途としての妥当性への理解を促すためにも、さまざまな地域貢献という観点からも、このような博物館的と解釈できるような取り組みは今後ますます重視されていくと考えられる。

これまで、都市施設のうち都市公園については現状把握と検討を行い（例えば、[1][2][8]）、都市施設における博物館的諸活動とその可能性についての概観を示してきた（[3][4]）。また、昨年の発表においては、全国の浄水場を対象としたアンケート調査結果をもとに博物館的諸活動の量的及び質的現状について分析結果を報告し、約8割の浄水場が何らかの博物館的機能を担っていること、取り組みの有無・件数と他機関との連携に有意な関係があることなどを示した（[5]）。

本発表においては、2018年2月から4月にかけて全国の主要ごみ処理施設を対象として実施した「都市施設の博物館的機能に関するアンケート調査」（第2期調査）の結果をもとに、ごみ処理施設における現状を報告する。

## 2. 都市施設の両義性と博物館的機能

都市施設とは、都市における諸活動を支え、生活に必要な都市の骨組みを形作る施設である（注）。都市施設には、それぞれ必要とされる本来の機能を発揮するように造られた物的施設としての存在意義と同時に、地域の共有財産としてのより広い機能に及ぶ存在意義を有するという両義性がある（[3]）。後者には、前述した中央政府や地方政府の権威、あるいは地域の個性や財力の可視化のほか、地域の歴史文化の保全と継承、地域への愛着の喚起、交流の場などさまざまな機能が含まれる。ルイス・マンフォード（[9]）は、現代の大都市が直面する諸問題を解決していくためには、これまでの人間の社会と文化の歴史に近づくことを可能にする博物館が必要であり、都市そのものが博物館の役目をするべきであるとしているが、ここで求められている機能は、建物としての博物館にとどまるものではなく、空間的にもより開かれ、市民が日常的に接する機会のある多種多様な都市の構成要素によって発揮されるべきであろう。

博物館の機能についてはいくつかの整理がある（例えば、[6][7]など）が、概ね「収集・保存」、「調査・研究」、「展示・教育」、及び「娯楽（楽しみ）」に整理することができる。本稿では都市施設における博物館的機能を表1のように捉えている。

表1 都市施設における博物館的機能

| 博物館的機能  | 概要  | 例  |
|---------|---|--|
| 収集・保存   | 当該施設や地域、及び関連する資源についての収集・保存・保全の取り組み等           | ・レンガ等創建時の意匠材料を保存して工事（東京駅）                |
| 調査・研究   | 当該施設や地域、及び関連する資源についての確認、調査、モニタリング、研究、記録の取り組み等 | ・地域自生種のモニタリング等を継続（国営讃岐まんのう公園）            |
| 展示・教育   | 当該施設や地域、及び関連する資源についての展示、解説、教育、継承の取り組み等        | ・下水道の見学施設や水再生センター等の公開（東京都ほか）             |
| 娯楽（楽しみ） | 上記の機能の発揮に際し、利用者を楽しませる取り組み等                    | ・施設見学会で利き水、スタンプラリー、水鉄砲作りなどを実施（神奈川県寒川浄水場） |

### 3. ごみ処理施設アンケート調査結果

#### 3.1 調査の目的、対象、及び方法

ごみ処理施設において、施設本来の機能のほかにも博物館的といえるさまざまな機能を発揮することによって地域社会に貢献していると考えられることから、取り組みの有無や状況を把握することを目的として実施した。ごみ処理施設に焦点をあてたのは、ほぼ全国的に存在し、地域において小学校等の社会見学の行き先として活用されているのではないかと考えたこと、ごみの分別や減量など教育あるいは啓発の必要性が大きいと考えたことなどによる。

全国の主要なごみ処理施設（ごみ焼却場）を対象として、郵送により708箇所のごみ焼却場に調査票を送付し、回答を依頼した。調査票の回収は返信用封筒を同封して行った。調査票送付及び回収の期間は平成30年2月～4月である。なお、送付先は、行政資料や自治体ホームページ等を参考に、施設処理能力にかかわらずできるだけ網羅するようリストアップした。

調査項目は、基本情報（正式名称、所在地、設置者、設置年など）、設置目的・規模・主な施設内容、博物館的機能（収集保存、調査研究、展示教育、楽しみ）の有無と内容、博物館としての位置づけの有無、学芸員の有無、他機関との連携、ボランティアの有無、取り組みの必要性、課題などについてである。

#### 3.2 調査結果の概要

708箇所のうち47都道府県の432箇所から回答を得た（回収率61.0%）。博物館的機能の有無についての回答の概要を図1～4に示した。

回答のあった432箇所のうち、収集保存に関しては95箇所（22.0%）、調査研究に関しては121箇所（28.0%）、展示教育に関しては418箇所（96.8%）、楽しみ（娯楽）に関しては174箇所（40.3%）で取り組みがあることがわかった。全体では419箇所（97.0%）のごみ処理施設が、収集保存、調査研究、展示教育、楽しみ（娯楽）のいずれかの取り組みがあるという結果を得、展示教育を中心に何かしらの

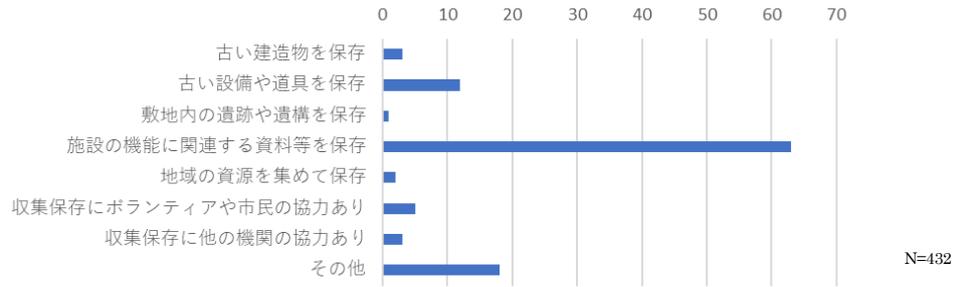


図1 収集保存に関する取り組み

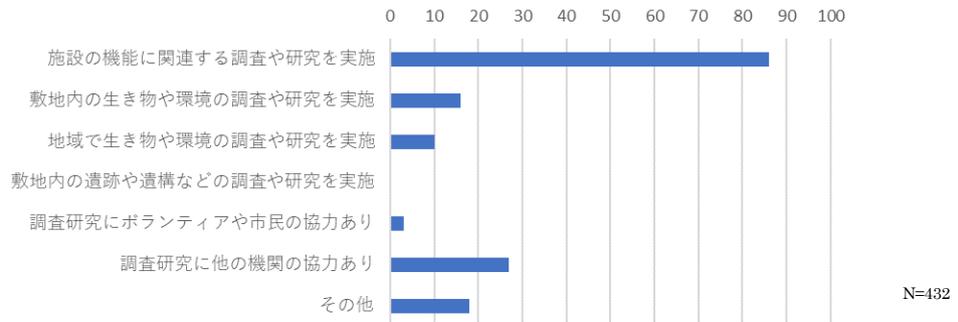


図2 調査研究に関する取り組み

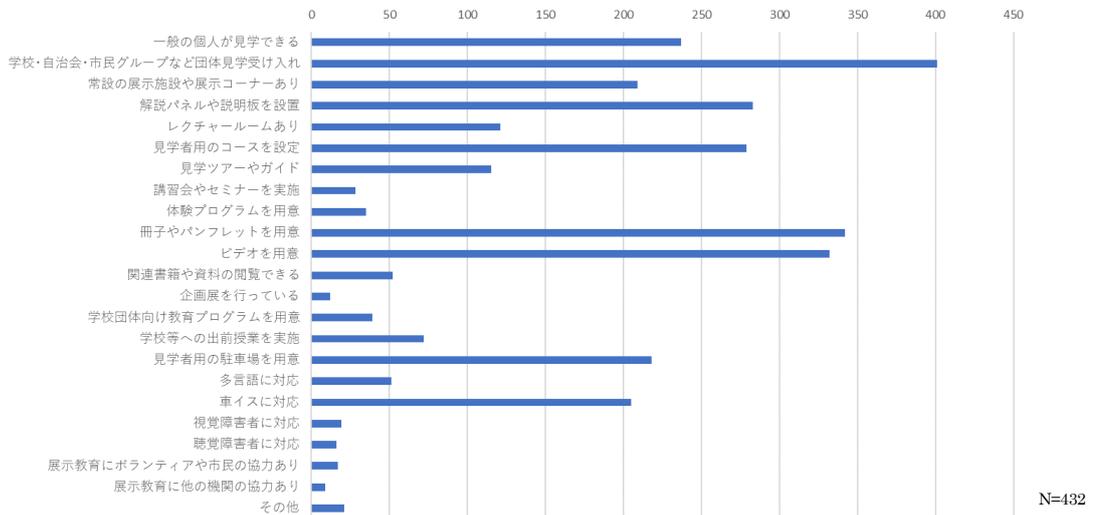


図3 展示教育に関する取り組み

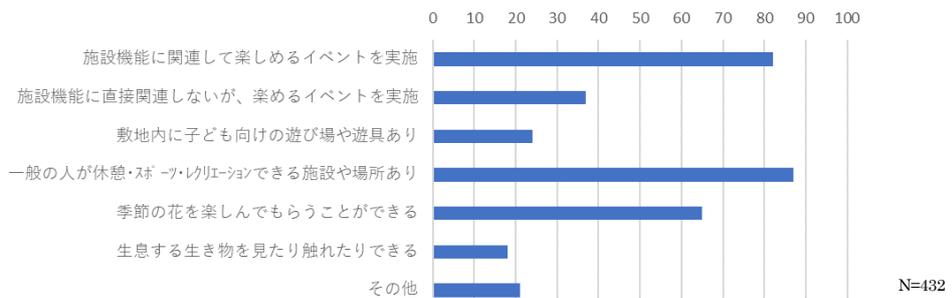


図4 楽しみに関する取り組み

博物館的機能といえる役割を担っているごみ処理施設が相当数あることが確認できた。展示教育に関しては、近年博物館が力を入れるようになってきた見学ツアーやガイドの実施、学校等への出前授業や教育プログラムの用意などに取り組んでいるごみ処理施設も少なくないことがわかった。

一方で、博物館としての位置づけや都道府県教育委員会による社会教育調査の対象となっている施設はなく、学芸員の資格を持つ職員がいる施設は5箇所、社会教育主事の資格を持つ職員がいる施設は4箇所にとどまった。また、他機関との協力や連携については、小学校が48箇所、企業が31箇所、中学校が22箇所、財団法人・社団法人等が20箇所、NPOが15箇所、大学・研究機関が12箇所、高等学校が9箇所、博物館が3箇所、他機関との協力や連携はないとした施設が248箇所であった。ボランティアについては、当該施設での活動を中心としているボランティアがいる施設が9箇所、当該施設が中心ではないが出入りしているボランティアがいる施設が19箇所、ボランティアはいないが388箇所であった。

取り組みの必要性については、「ごみの減量や分別のために必要」が302箇所(69.9%)、「環境教育のために必要」が263箇所(60.9%)、「周辺住民の理解や協力を得るために必要」が240箇所(55.6%)、「地域に立地する施設として地域に開かれた取り組みが必要」が113箇所(26.2%)の順であり、全体では373箇所(86.3%)は取り組みが必要としている(図5参照)。

取り組みための課題については、「施設が老朽化している」135箇所(31.3%)、「アクセスが不便」129箇所(29.9%)、「人員配置など体制がない」108箇所(25.0%)などの順であり、全体では344箇所(79.6%)が何らかの課題があるとしている(図6参照)。

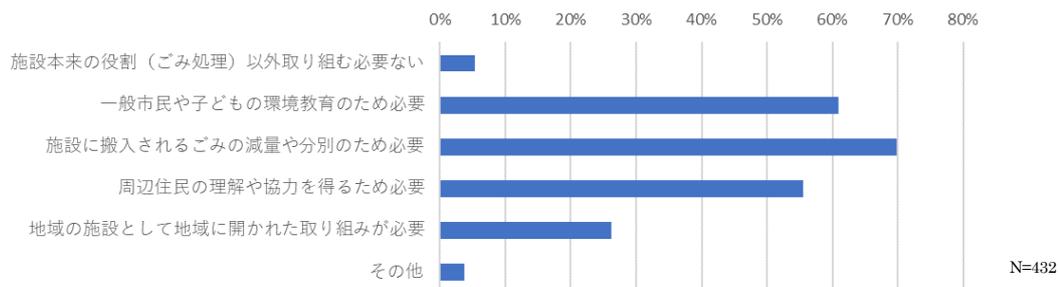


図5 取り組みの必要性

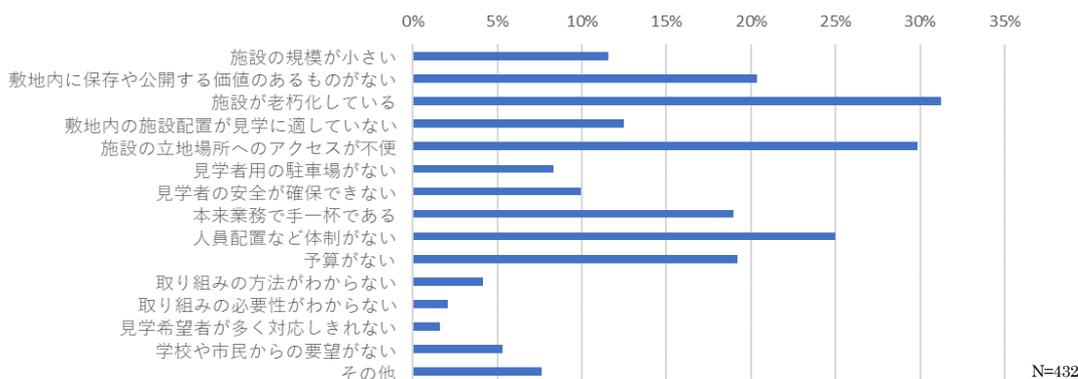


図6 取り組むための課題

### 3.3 ごみ処理施設の属性と取り組みとの関係性

項目間の関係性を探るため、相関分析により有意性を確認した。表2に、地域ブロック、連携の件数・有無、資格保持者及びボランティアの有無と、取り組みの有無・項目数、取組の必要性、課題との単相関係数及び有意性の判定結果を示した。

取り組みの有無・項目数は連携の有無・件数と有意な関係がある。特に連携の有無・件数とも取り組みの項目数との有意性が強くなっている。また、資格保持者やボランティアの有無も取り組みの項目数と有意であることから、連携・資格保持者・ボランティアが取り組みの充実に影響すると考えられる。取り組みと地域ブロックの関係では「関東」で「収集保存」と「楽しみ」に、「近畿」で「楽しみ」に正の有意性が見られた。

取り組みの必要性についても連携の有無・件数と有意な関係にあり、ボランティアの有無とも「環境教育のため」と「地域に開かれた取り組みが必要」とやや有意であった。また、地域ブロックでは「近畿」で「ごみの減量・分別のため」とやや有意であった。

取り組みの課題については、「価値あるものがない」、「施設配置が見学に不適」、「安全が確保できない」などいくつかの課題で連携の有無・件数、及びボランティアの有無と負の有意性がみられた。連携やボランティアの関与が課題の克服にも有効である可能性がある。

また、連携の有無は「近畿」とやや有意で、ボランティアの有無は「東北・北海道」と負の有意性がみられた。

## 4. おわりに

本稿では、全国のごみ処理施設を対象として実施した「都市施設の博物館的機能に関するアンケート調査」の結果をもとに、ごみ処理施設における博物館的機能について報告した。

殆どのごみ処理施設が、濃淡はあるものの博物館的機能といえる収集保存、調査研究、展示教育、楽しみ(娯楽)のいずれかの取り組みを行っている。特に地域の小学校の社会見学への対応を中心に教育的役割を担っている施設が相当数あることが確認できた。ただ、博物館や教育施設としての位置づけはなく、学芸員や社会教育主事などの有資格者がいる施設やボランティアが関与している施設はごく一部であり、施設の多くは職員が本来業務の傍らで時間を捻出しながら取り組んでいる。ごみ処理施設の場合、施設本来の機能であるごみ処理に直結するごみの減量・分別のためなど取り組みの必要性は認識されているが、施設老朽化をはじめ課題も多い。相関分析の結果からは連携や有資格者・ボランティアの関与が取り組みの充実や課題克服に有効である可能性がうかがえることから、取り組みの充実には地域内のヨコの連携や専門人材やボランティアが関与できる仕組みが求められよう。

地域差に関連しては、地域ブロックごとの分析では明確な差異を見出すには至っていない。今後、自治体単位のデータを活用しつつ、都市施設の博物館的機能と地域力との関係を探りたいと考える。

表2 単相関係数と有意性

|              |            | 地域ブロック    |           |         |    |         |            | 連携      |          | 資格保<br>持者の<br>有無 | ボラン<br>ティアの<br>有無 |
|--------------|------------|-----------|-----------|---------|----|---------|------------|---------|----------|------------------|-------------------|
|              |            | 九州・<br>沖縄 | 中国・<br>四国 | 近畿      | 中部 | 関東      | 東北・<br>北海道 | 件数      | 有無       |                  |                   |
| 取組の有無        | 収集保存       | —         | —         | —       | —  | 0.126*  | —          | 0.129** | 0.110*   | —                | —                 |
|              | 調査研究       | —         | —         | —       | —  | —       | —          | 0.218** | 0.192**  | —                | —                 |
|              | 展示教育       | —         | —         | —       | —  | —       | —          | —       | 0.113*   | —                | —                 |
|              | 楽しみ        | -0.102*   | —         | 0.129** | —  | 0.132** | -0.096*    | 0.205** | 0.201**  | —                | 0.276**           |
| 取組項目数        | 収集保存       | —         | —         | —       | —  | 0.152** | —          | 0.141** | 0.121*   | 0.140**          | —                 |
|              | 調査研究       | —         | —         | —       | —  | —       | —          | 0.328** | 0.263**  | 0.101*           | —                 |
|              | 展示教育       | —         | —         | —       | —  | —       | -0.095*    | 0.391** | 0.313**  | 0.114*           | 0.315**           |
|              | 楽しみ        | -0.101*   | —         | 0.113*  | —  | 0.185** | -0.098*    | 0.321** | 0.250**  | 0.157**          | 0.296**           |
| 取組の必要性       | 必要ない       | —         | —         | -0.098* | —  | —       | —          | —       | -0.100*  | —                | —                 |
|              | 環境教育のため    | —         | —         | —       | —  | —       | —          | 0.179** | 0.165**  | —                | 0.095*            |
|              | ごみ減量分別のため  | —         | —         | 0.100*  | —  | —       | —          | 0.160** | 0.156**  | —                | —                 |
|              | 住民の理解のため   | —         | -0.106*   | —       | —  | —       | —          | 0.237** | 0.218**  | —                | —                 |
| 取組の課題        | 地域に開かれた取組  | —         | —         | —       | —  | —       | —          | 0.243** | 0.234**  | —                | 0.121*            |
|              | 施設規模が小さい   | —         | —         | —       | —  | —       | —          | —       | —        | —                | —                 |
|              | 価値あるものがない  | —         | —         | —       | —  | —       | —          | -0.115* | -0.170** | —                | —                 |
|              | 老朽化        | —         | —         | -0.109* | —  | 0.131** | —          | —       | —        | —                | —                 |
|              | 施設配置が見学不適  | —         | —         | —       | —  | —       | —          | -0.107* | -0.123*  | —                | -0.100*           |
|              | アクセスが不便    | —         | —         | 0.103*  | —  | —       | —          | —       | —        | —                | 0.095*            |
|              | 見学者用駐車場がない | —         | —         | —       | —  | —       | —          | —       | —        | —                | —                 |
|              | 安全が確保できない  | —         | —         | —       | —  | —       | —          | —       | -0.101*  | —                | —                 |
|              | 本来業務で手一杯   | —         | —         | —       | —  | —       | —          | —       | —        | —                | -0.127**          |
|              | 人員体制がない    | —         | —         | —       | —  | —       | —          | —       | —        | —                | —                 |
|              | 予算がない      | -0.123*   | —         | —       | —  | —       | —          | 0.095*  | —        | —                | —                 |
|              | 方法がわからない   | —         | —         | —       | —  | —       | —          | —       | —        | —                | —                 |
|              | 必要性がわからない  | —         | —         | —       | —  | —       | —          | —       | —        | —                | —                 |
| 希望者多く対応しきれない | —          | —         | —         | —       | —  | —       | —          | —       | —        | —                |                   |
| 要望がない        | —          | —         | —         | —       | —  | —       | —          | —       | —        | —                |                   |
| 連携           | 件数         | —         | —         | —       | —  | —       | —          | —       | —        | —                | —                 |
|              | 有無         | —         | —         | 0.098*  | —  | —       | —          | —       | —        | —                | —                 |
|              | 資格保持者の有無   | —         | —         | —       | —  | —       | —          | —       | —        | —                | —                 |
|              | ボランティアの有無  | —         | —         | —       | —  | —       | -0.100*    | —       | —        | —                | —                 |

\*\* p 値<0.01 \* 0.01<p 値<0.05 — p 値>0.05

ただし、地域ブロックの中で近畿（滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県・三重県）、中部（新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県）、関東（茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県）とした。

注：都市計画法第11条第1項において、「1.道路、都市高速鉄道、駐車場、自動車ターミナルその他の交通施設、2.公園、緑地、広場、墓園その他の公共空地、3.水道、電気供給施設、ガス供給施設、下水道、汚物処理場、ごみ焼却場その他の供給施設又は処理施設、4.河川、運河その他の水路、5.学校、図書館、研究施設その他の教育文化施設、6.病院、保育所その他の医療施設又は社会福祉施設、7.市場、と畜場又は火葬場、8.一団地の住宅施設（一団地における五十戸以上の集団住宅及びこれらに附帯する通路その他の施設をいう。）、9.一団地の官公庁施設（一団地の国家機関又は地方公共団体の建築物及びこれらに附帯する通路その他の施設をいう。）、10.流通業務団地、11.一団地の津波防災拠点市街地形成施設（津波防災地域づくりに関する法律（平成二十三年法律第二百二十三号）第二条第十五項に規定する一団地の津波防災拠点市街地形成施設をいう。）、12.その他政令で定める施設」とされており、それぞれの都市はその都市にとって必要な都市施設を選択し、交通事情などの都市の現状や将来の見通しなどから考えて、適切な規模で必要な位置に都市計画によって定めることとなっている。

謝辞：アンケート調査の実施にあたっては、全国のごみ処理施設関係者の方々に多大なご協力を賜りました。深く御礼申し上げます。なお、本研究は科研費（16K01203）の助成を受けたものです。

参考文献

- [1] 堀江典子・平松玲治「公園の博物館化に関する一考察」博物館学雑誌、第36巻第1号、2010、pp.61-74
- [2] 堀江典子・平松玲治・森本千尋「都市公園における博物館的機能展開の考え方」公園管理研究、Vol.5、2011、pp.7-12
- [3] 堀江典子「都市施設の博物館的機能における地域特性に関する一考察－展示施設を有する都市施設等の現状－」日本地域学会第52回年次大会学術発表論文集、2015
- [4] 堀江典子「都市施設における博物館的機能の可能性と課題」博物館学雑誌、第41巻第1号、2015、pp.75-83
- [5] 堀江典子「浄水場における博物館的機能の現状に関する一考察」日本地域学会第54回年次大会学術発表論文集C01-2、2017
- [6] 石森秀三『改訂版博物館概論－ミュージアムの多様な世界－』財団法人放送大学教育振興会 1999
- [7] 加藤有次・椎名仙卓『博物館ハンドブック』雄山閣 1990
- [8] (財)公園緑地管理財団『「博物館学」の知の導入と連携による公園の博物館的機能展開手法の開発に関する研究』研究成果報告書(科研費H20-22)、2011
- [9] Lewis Mumford, *The City in History: Its origins, its transformations, and its prospects*, Harcourt, Brace & World, 1961 (ルイス・マンフォード『歴史の都市 明日の都市』生田勉訳、新潮社、1969)